



# 滝桜 未来につなぐ 種拾い 苗木に

三春町にある三春滝桜は、千年以上前から生えている桜の大木で、国の天然記念物に指定されています。滝桜の近くにある中郷小では、児童のみんなが滝桜の子孫樹を育て、ふるさとの宝を未来につなぐ活動を続けています。



滝桜の実です。小豆ぐらいの大きさで濃い紫色の果肉の中に種がついています。

すくすくと  
大きくな～れ



拾った種は学校でみんな育てます



大きく育った苗木は卒業式の日卒業生へプレゼントします

**三春・中郷小みんなが「守る会」**

中郷小には1982年から滝桜の種拾いがあります。滝桜を守る会が、児童全員が参加して、毎年春の開花シーズンは、手作りの三春町のパンフレットを滝桜を見に来た人たちに配ったり、滝桜の周りを清掃したりしています。

守る会の活動の一つに、中郷小には1982年から滝桜の種拾いがあります。滝桜を守る会が、児童全員が参加して、毎年春の開花シーズンは、手作りの三春町のパンフレットを滝桜を見に来た人たちに配ったり、滝桜の周りを清掃したりしています。

学校で育てた子孫樹は、卒業記念として卒業生に贈るほか、学校の敷地内に植えています。

今年(令和6年)の種拾いは6月に全校児童36人で行いました。鈴木惺也さん(6年)は「日大三大桜の一つである滝桜が自分たちの住むところにあるのは誇りで、うれしいことです。みんな協力してこれからも残していきたいです」。橋本莉奈さん(6年)は「今年(令和6年)の種拾いは実の数が少なくて残念だったけれど、学校で育てている苗木は元気に育っています。滝桜は三春町のシンボルなので、きれいな花を咲かせてくれるとうれしいです」と、感想を話しました。



種拾いをした中郷小のみんな。滝桜を守る活動に取り組んでいます

今年はどうかな?

天候不良で今年  
は種の数  
が少なかった  
ようです



根元も見たよ

種拾いのときは、普段入ることができない滝桜の根元まで近づくことができます。みんなは立派な木の幹を観察しました

福島民友新聞七月八日(月) 報道  
「滝ザクラを守る会② 種拾い・種洗い」